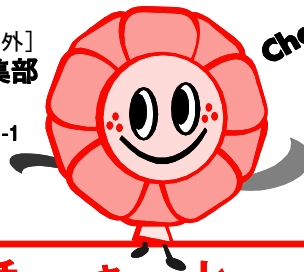


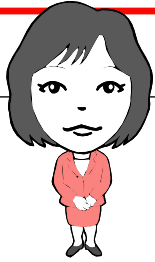


平成 23 年 3 月 25 日 [号外]  
 民主党プレス民主編集部  
 〒100-0014  
 東京都千代田区永田町1-11-1  
 Tel.03-3595-9988 (代表)  
 e-mail press@dpj.or.jp  
 http://www.dpj.or.jp



Challenge!!

民主党山形県第3区総支部代表  
 衆議院議員 **和嶋 未希**  
 プレス民主 [号外] 山形県第3区版  
 〒998-0011 山形県酒田市上安町1-1-22 1階  
 Tel.0234-35-8285 Fax.0234-27-3080



未 来 希 望、チ ャ レ ン ジ !

# がんばろうニッポン

東北の支援拠点、山形から

わじまみき奮闘記

2011.03.25

## ガソリン・軽油等の供給対策について

地震発生から2週間、被災地では不自由な環境のなかでも、避難所には自治組織ができたところもあり、子どもたちも被災された方々もみずからできること、自分以外の誰かのために今できることを、と行動されていることに心より敬意を表します。

避難所を中心に全国から物資も集まっていますが、まだまだ物資供給、燃料不足ともに十分に解決されているとはいえません。

ガソリン・軽油等の供給対策として、24日現在、東北地方の被災地向けに236台のタンクローリーが東北に追加投入され、西日本の製油所からのガソリン等の東北地方への輸送がなされています。塩釜油槽所・八戸油槽所も機能を回復しつつあります。また、東北地方にある元売系列の3070SSのうち、74%にあたる2265SSが稼動を始めました。

山形でも、私のところにも連日たくさんの皆様からガソリン・燃料のお問い合わせ、お叱り、お怒りのお電話やメールをいただきます。私の家族も、周囲の方々もガソリンを詰めるために何時間も並び、頻りに帰県しているので身にしみてわかっています。

緊急に入ってくる燃料のほとんどが当然ながらまずは被災地に振り向けられるなかで、山形県がガソリン・燃料の通過地点と化していたことは事実であり、ガソリン・燃料不足のために被災地の支援拠点としての役割を十分に発揮できずにいること、そして本

来の県民活動そのものに支障をきたしていることを政府や省庁に度々伝えながら、只今供給対策を講じている最中で

す。振り向けの調

整によって微増ではありますが回復対策の最中にあります。連日、県内の状況を確認しながら引き続き回復を図ってまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

一方で、同じ東北のなかで幸いにも被災の少なかった県として、山形県には果たすべき役割と責任があります。山形県の供給が何がなんでも先ということとはできないと思っています。今晚の電気が灯り、水が出て、今日一日の食が満たされること、近隣の被災地に想いを寄せ、「必要最低限」とはどういうことなのか、考えなければならぬとも思います。皆様のお気持ちを痛感しながら、順調な回復のため今後とも引き続き皆様のご協力のほどよろしくお願いたします。

衆議院議員 和嶋 未希



品切れのため閉店する  
ガソリンスタンド

※なお、救急救命など生命に関わること、緊急性の高い事柄についてはこれまで同様個別に対応してまいりますので、お知らせください。